

カンナ子ども夢プラン 小学生の夢を次世代チームの高校生たちが実現させました！
【オリパラに、皆さんが育てた真っ赤なカンナが咲きます！】 2021年3月吉日
里親登録制度登録者のみなさま

カンナ・プロジェクト 創始者 橘凜保

オリンピックが東京で開催されると決まった2013年から、長い年月をかけ、高校生たちが企画書を作り、関係機関でプレゼンテーションをし、広島の小学生の夢、そして、カンナを繋いで平和を願う皆の夢の実現となりました。

「オリパラを平和の祭典に!」「被災地にも繋いだカンナで復興五輪に!」

そもそも、オリンピックの理念は武器を置いてスポーツで競い合おうというものでした。

(クーベルタンのオリンピックの理念より)

オリパラ2020は、「復興五輪」と名付けられました。

子どもたちが咲かせ、バトンを繋いでいる真っ赤なカンナは、元々が「広島爆心地820mに1ヶ月で咲いて、人々に生きる力を与えた平和と希望と復興を促した花です。その復興の陰で瓦礫とともに処理され、人々の記憶からも消えましたが、平和を願う子どもたちが現代に蘇らせ、国境を超え、世界16カ国に繋いだ花です。宗教を超えて、分かち合いました。(海外の球根はすでに預かっています。)

そして2011年の東北大震災には、広島の子どもたちから預かり、たくさんのカンナを東北に届けました。その後も被災地に届けました。「原爆にも負けなかった真っ赤なカンナで元気を出してほしい!」という子どもたちの思いからです。

コロナ禍で延期され、不運な巡り合わせとなった「東京五輪2020」ですが、今年、コロナと共存して開催されます。

東京五輪2020を皆さんが育てた真っ赤なカンナで平和と復興の五輪に

コロナに負けず、共存して、無事に成功させたいですね。

五輪開催には賛否両論あります。里親になった時と事情が変わった方もあると思います。

希望する方に参加していただきます。

参加方法

カンナ・プロジェクトの里親として育てた球根1株か2株掘り起こし、育てた人と一緒に球根の写真を1枚添えて送ってください。送り先は、参加の表明をくださった方にお知らせします。

参加ご希望の方は、riho.tachibana@gmail.com お返事ください